

ゲスト審査員

大九 明子

1968 年横浜市出身。主な作品に、「恋するマドリ」「ただいま、ジャクリーン」「モンスター」「放課後ロスト / 倍音」「でーれーガールズ」など。最新作は、TUBE の MV 四部作から生まれた松岡茉優主演の「渚の恋人たち」。



三澤拓哉

1987 年、神奈川県出身。明治大学卒業後、日本映画大学に進学。2016 年卒業。初脚本・初監督作の『3 泊 4 日、5 時の鐘』（14/ 製作：和エンタテインメント）はロッテルダム国際映画祭、北京国際映画祭ほか 12 の映画祭に招待され 3 つの賞を受賞した。2015 年、釜山国際映画祭のアジアンフィルムアカデミーに参加。2016 年には日韓共同制作のドキュメンタリー映画『Return』を監督。今年は出身地である湘南の市民とともに作り上げた短編映画『C-side town』が湘南各地で上映された。



篠原哲雄

明治大学法学部卒。学生時代は法文化論、法社会学を中心にゼミ活動。卒業後、映画の助監督として森田芳光監督らに師事。1993 年、自主映画として撮った 16 ミリ「草の上の仕事」が劇場公開に至る。その後、「月とキャベツ」「はつ恋」「命」「昭和歌謡大全集」「地下鉄に乗って」など様々なタイプの作品を発表。2015 年は「起終点駅〜ターミナル」「種まく旅人」「スイートハートチョコレート」が公開。



講評会司会

東 紗友美

肩書き：映画ソムリエ（ブロガー・映画ライターとしても活動中）

映画ソムリエとしてフリーで活動中。映画館に通う人を 1 人でも多く増やし、映画業界を盛り上げることのできる存在になることが夢。



トークゲスト

アダム・トレル

映画配給会社 Third Window Films 代表。日本およびアジア映画を、劇場公開作品の配給や DVD 販売を通じて 70 作品以上をイギリスをはじめとした世界の人々に紹介している。手がけた作品に『告白』（中島哲也監督）、『悪の教典』（三池崇史監督）、『悪人』（李相日監督）、『愛のむきだし』（園子温監督）など。共同制作作品は『希望の国』（園子温監督）。プロデューサー作品は『福福荘の福ちゃん』（藤田容介監督）と『下衆の愛』（内田英治監督）がある。レインダンス映画祭、テラコッタ・ファースト映画祭などでプログラマーとしても活躍している。



小路紘史

東京フィルムセンター映画・俳優専門学校を卒業。10 作品以上の短編映画を制作し、日本・海外の映画祭で上映される。2011 年に制作した短編版の『ケンとカズ』は SKIP シティ国際 D シネマ映画祭 2011 で奨励賞を受賞し、ロッテルダム国際映画祭 2012 をはじめリスボン国際インディペンデント映画祭 2012 など 4 か国で上映される。

